

堀江地区タウンミーティング

平成23年4月19日（火曜）

【司会】 皆様こんばんは。ただいまから、「タウンミーティング、笑顔あふれる堀江をめざして」を開催いたします。

このタウンミーティングは、住民の皆さんから地域の魅力や理想像、そして地域の課題などについて生の意見をお聞きし、理想の地域を作るために皆さんが出来ること、行政が出来ること、そして皆さんと行政が力を合わせて出来ることにはどんなことがあるかを、一緒に考え、これからのまちづくりに生かしていこうとするもので、野志市長のもと、1月に五明地区、2月に北条地区、3月に中島地区で開催し、今回の堀江が4地区目となります。これまでに開催した各地区では地域への熱い思い、これからのまちづくりに向けた思いといった、前向きで夢のあるお話を聞かせていただいています。本日も是非、前向きで夢のある対話ができればと考えています。

それでは開会にあたり、野志克仁市長からごあいさつを申し上げます。

【市長】 皆様、こんばんは。今日は4月ですのに大変寒い1日になりまして、横殴りの雨も降っておりましてまた、平日の夜間お仕事のお疲れもあると思いますのにこのようにたくさんの方がご出席いただきありがとうございます。このタウンミーティング開催に当たりましては堀江地区まちづくりコミュニティ会議の石丸会長初め役員の皆様方には開催を快諾していただきまして誠にありがとうございます。

私は市長就任に当たりまして、7本柱の公約を掲げておりました。順に申しあげていきますと、「誇れる」行政サービスで笑顔に、「誇れる」言葉で笑顔に、「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に、「誇れる」子育てで笑顔に、「誇れる」福祉・医療で笑顔に、「誇れる」まちの長所を活かし笑顔に、「誇れる」地域の宝を磨き笑顔に、こういった7本柱の公約を掲げて参りました。そしてキャッチフレーズが、「一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れるわがまち松山」でございます。いちばん最初に申し上げた「誇れる」行政サービスで笑顔にの代表例がこのタウンミーティングでございます。松山市には公民館の本館で区切りますと41の校区がございます。その41地区で開催してまいります。私と市の幹部が出かけてまいりまして、皆様にご意見を聞かせていただく。一つは地域の魅力を教えていただく、これが大事なんです。地域の魅力をちゃんと捉えないと、まちづくり間違った方向にいつちゃうんですね。自分たちの地区

にはどんないい点があるんだろう。人間おんなじまちに住んでいるとついつい過少評価してしまうんですけども、それはいけない、自分たちの地区にはどんないいところがあるのか、ちゃんと把握しないといいまちづくりができない。街の魅力についてまず語っていただこうと思います。そしてまちの課題や問題点についてまたお話いただこうと思います。それを我々とみなさんが一緒になって考えることによって、その問題点課題をどうクリアしていこうか、そういうお話をさせていただいたらと思っております。そんなに緊張しないでください。1時間半という時間ですから肩肘張っていると疲れてしまいますから、緊張なさないで。また、マスコミの方来られてますんで、例えば明日の夕方のテレビのニュースですとか明日の朝刊などで出されるんだと思うんですけど、こういう形で出るんだと感じていただくのもよいかと思います。とにかくみなさんといい議論ができれば、いろんな意見を聞かせていただけたらと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【司会】 さて本日のタウンミーティングでは、「堀江地区の魅力」「人づくり」「環境づくり」の3つのテーマを設定させていただいており、このテーマに沿って、皆さまのご意見をお伺いします。

皆様からのご意見に対しましては、市長が直接お答えすることとしておりますが、専門的な事柄に関しましては担当部長等がお答えすることがございます。また、本日お答えできない案件につきましては、持ち帰り、後日回答させていただきますので、ご了解いただきますようお願いいたします。

それでは、最初のテーマ「堀江地区の魅力について」御発言のある方は挙手をお願いいたします。

【男性】 堀江地区は、海と山に囲まれました風光明媚なところで、ため池百選にも選ばれました親水公園の新池や非常に泉質のよい権現温泉があり、文化的なものとしては、ミウラートもあります。また、堀江のブランド米、栄吾米なども今後伝えていかなければならないと考えております。その他のソフト面では4点ほどあります。まず、第1点は、堀江地区ではまちづくりコミュニティ会議を立ち上げ、まちづくりを行っておりますが、松山市で第1番目であったということです。第2点目は、この地域は早くから多数の福祉施設を受け入れておりますが、これは受け入れる人としての資質、人情味のある優しさやおおらかさがあるということにほかならないのではないかとこのように考えております。第3点目は、スポーツが非常に盛んな地域でもあり

ます。これも熱心にお世話をされる方やまた指導される方があって初めて成り立つと思っております。なお、昨年愛媛マラソンで走られる人の応援をするということで、楽笑会を立ち上げました。非常に盛会でございまして、ことし30名の方が走っております。今後も引き続き応援をしてまいりたいと考えております。それと最後の第4点目、子どもは地域の宝というふうに考え、学校と地域で実施する学社融合授業が非常に盛んでございます。文化祭とかどろんこゲームとか、ふれあい自由体験とか、いろいろやっております、地域と学校が一体となって子どもたちのために進めています。

堀江地区は、ソフト面の活動は非常に盛んです。今後のまちづくりとしても、より充実させてまいりたいと考えておりますが、一方、ハード面につきましては、合併後に北条地域の整備計画が進む中、市の中心部と北条の間に挟まれた地区ですので、堀江地区の整備がなおざりに、置き去りにされるおそれがあるということで、地域住民の方は非常に危惧しております。

今後の施設の充実・整備につきましては、市長さんの御指導を期待するものです。

【市長】 今、伺いまして、そうか、そんなことを思われるのかと思ったんですけど、やっぱり中心部と北条との間でまちづくりが置き去りにされるんじゃないか、と思われませんか。埋没させるようなことはありませんので、御安心ください。

今、栄吾米の話が出たんですけど、上松栄吾さん、49歳のときに宿毛でいい稲を見つけて、それを試作、改良して、幕末、明治、大正のころは、大阪では伊予栄吾米すごい評判だったそうです。1割5分ぐらい高い値段で取り引きされよったらしいですが、今、堀江小学校の子たちが田植えして、収穫して、おにぎりつくったり。先人の偉業を今に伝えているというのがすばらしいと思います。この辺が堀江の力と感じております。

【女性】 私は、あいさつについて話したいと思います。ずっと前から堀江小学校では、あいさつ運動を続けていました。このことにより、堀江地域にあいさつが響くようになってきました。しかし、残念ながら堀江以外ではあいさつが響いていないように思います。私は堀江校区以外の学校に通うようになりました。そこで、もっと自分が積極的にあいさつをしたり、呼びかけをするようにしたいです。なぜかという、いつもあいさつをしていると仲よくなって、コミュニケーションもうまくいくと思うし、いじめもなくなると思うからです。ぜひ、松山市全体にあいさつ運動を市長さんから呼びかけてほしいと思います。

【市長】 あいさつってすごく大事なことだと思うんです。以前よく不審者とかといわれて、都会ではあいさつしたらいかんみたいな流れになっちゃって、ちょっと寂しいですね。でも、愛媛のどっちかいうたら郊外、田舎の方に行ったら子どもたちが元気にあいさつをしてくれるんです。これが本当の姿だと思うんです。ある小児科の先生に目からうるこのお話をしてもらったんですけども、今の子どもたちって読み・書きはすごくするんだけども、話す力がとっても乏しい。話すといろんな人の価値観を知るんだそうです。この人こんなこと考えているんだ。こんなこと思っているんだ、そういういろんな価値観に触れることができるそうです。そうになると、他人の価値観も認められるし、自分の価値についても認めることができるそうです。

ですから、コミュニケーション、言葉を交わすということが人の価値を見出すこと、自分の価値を見出すことでもとっても大事なことだと教えていただきました。

ですから、私も言葉を交わすことは大事にしていきたいと思っています。

ことしの4月から小中学生スクールミーティングという授業をやることにしました。小学校や中学校に出かけて行って、子どもたちにちゃんと言葉を交わしましょう、お話ししましょう。言葉でもいい言葉と悪い言葉があるんですよ。いい言葉というのは、人を元気づけたり、勇気づけたりする言葉。逆に悪い言葉というのもあります。中傷とか悪口からは何にも生み出しませんよ。今の子どもたちが使う嫌な言葉って「きもい」、「うざい」、「死ぬ」、すごい極端な言葉なんです。ゼロか100かみたいな言葉、極端ですよ、真ん中の文化がなくなっているんじゃないかとおっしゃっていたんですけども、悪い言葉はできるだけ使わないようにしましょうということを、訴えていきたいと思っています。

松山は言葉を大事にできる町だと思いますので、私も小中学生にあいさつ運動、コミュニケーションを大事にしようというのを言っていこうと思っています。

【男性】 堀江校区は物すごく気候が温暖なんです。権現温泉もあるし、大栗にしても涼しいし、もっともっと堀江の方へ住宅をつくってみたり、住宅を進めてもらうようにして、もっと堀江を発展させてください。それだけの価値のある土地なんですよ、住んでみてわかるんですよ、本当に堀江をわかってもらって、堀江をみんなが住んでくれる町にしてください。

【市長】 今の御意見は本当に堀江を大事に、堀江が大好きなんだというお気持ちがあらわれた言葉だと思います。

【市長】 このタウンミーティング、必ずお答えを返します。調べなきゃいけないこともあって、すぐにお答えできないということがあるかもしれないんですけども、その場合は持ち帰って、しっかりと調べて、1カ月後ぐらいには皆さんのところにお返事をいたします、やりっ放しにしないというのがこのタウンミーティングのよさだと思っております。

【女性】 私はお年寄りと身近に交流し、かかわりを深めることができる場所を設けてほしいと思います。この堀江地区は、みんなが優しく、地域一人一人との結びつきが深くとてもいいと思います。また、小学校の行事などさまざまなお年寄りや地域の人々とかかわる機会がありました。私が行なったお年寄りとの交流会では、相手に笑顔になってもらうことで私もうれしく感じたことを覚えています。私は、この行事がとてもよかったと思います。1回切りではなく、もっと身近に続けられたいと思いました。地域とかかわりを築こうと思ってもなかなか難しいと思いますが、そのような場があるとすれば触れ合うもっといい地区になると思います。

お年寄りと私たちが仲良くしていければ、地域全体がきっと明るくなります。地域をよりよくするためにも、かかわりを深めるためにもそういう場所が必要だと思えます。ぜひ、よろしく願います。

【市長】 今の御意見なんですけども、今ある施設を利用していただけないかなと思っています。例えば、保育所であったり、幼稚園、小学校、中学校、公民館そういう建物があります。こういう建物というのはその地区の拠点なんです。そういうところがなくなった途端に地区のともしびが消えたようになるというところは、多々見てきたんですね。ですから、今ある保育所や幼稚園、小学校、中学校を大事にしてほしいというのが私の思いです。つくるとなるとお金がかかる、建設費だけでなく維持管理費も必要になってくる。ですので、今ある施設をいかに利用するかをまず考えてもらえればと思うんです。場所じゃなくて、心と心の交流が大事なんじゃないかと思っています。

例えば、今保育所、保育を行うだけじゃなくて、地域の人と交流を深めるための活動もしている。園児たちがお年寄りのいる施設を訪問することもその1つだと思います。また、堀江の公民館では学習講座の中で高齢者と子どもの交流の場を設けているそうです。文化祭もある、収穫祭もある、ですから、今ある場所をいかによくしていくかを大事にしてもらえればと思っています。

昔のように高度経済成長という時代があって、民間も調子がよくて、行政もどんどん税金が入ってくる世の中だったらいろんな建物をつくることもできた。でも、残念ながらそういう時代ではないんです、今。日本の子どもの数、人の数もどんどん減っている、何かを建てるとやっぱり負担になるんです。せっかくの提案なんだけど、ちょっと厳しいかもしれないけども、今あるものを生かしてほしいというのが私の思いです。

【男性】 今、ふるさと大学を10講座組んでいます、それから、高齢者学級で5講座あります。ふるさと大学で40名の10回で400人。高齢者学級で40名で5回で200名。約600名の方々が勉強をする機会をつくっておるんです。ですから、帰ってこういうことを聞いてきたよ、勉強になったよということで広げていただけるので、大分堀江の人たちに勉強になったというふうに思うんです。

私は、子ども会議に必ず出席します。内宮中学で10名、堀江小学校で約10名、20人の方々が話しします。100ぐらいいろいろ出てきます。その中で、大人はこうしてほしい、ああしてほしい、あるいは大人と一緒に何かやりたい、今、愛風会というのをやって児童が50名ぐらい毎月第2土曜日に来ています。一緒に堀江をきれいにしたいということで頑張っています。最近では、お母さんたちが10名ぐらい参加しています。

そういうことで、ずっと広がりよんですけども、人づくりという立場から言うなら、そういう勉強した人がふえておるのが実情です。

【市長】 いかにも公民館、今ある施設を生かすかいうので、ふるさと大学なんかいいと思います。

【男性】 学校支援地域本部事業について1点、お尋ねをしたい。平成20年から3年間、国が全額を出して委託事業として、堀江、小野、久米、桑原の4カ所で実施をしておりました。堀江小学校では、「自分がすき、人がすき、堀江がすき」を合い言葉に教育方針を立て、大人になっても堀江に戻ってくるようにいろんな取り組みをしています。

堀江は従来から、学校、家庭、地域が一体となって学社融合を進めてきたところで、この事業によって地域の協力体制がシステム化されたというふうに思っています。学校の求めに応じて、地域の人が松の剪定をしたり、見守りをしたり、学習補助等を行っており、この事業の効果は大変大きいと思っています。

23年度は国の制度が変わりまして、松山市は実施をしておりません。既にシステム

化をされて、多額の費用は要らないと思います。よりよい教育が行われ、人づくり、松山市の住んでいる人づくりが済む、先生の負担も少なくなるという少しのお金でいいことがあると思いますので、ぜひ、再検討をお願いしたいということでございます。

【市長】 とてもよかった事業であると認識しており、引き続き、積極的に取り組んでいきたいと思っております。

学校支援地域本部事業、これは、学校、家庭、地域が一体になって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えましょうというのが目的で、子どもの健全育成に非常に効果があることから、今後とも市内41カ所にある公民館のオンリーワンのふるさとづくり推進事業の中で積極的に取り組んでいきたいと思っております。

【男性】 この堀江はスポーツが盛んだと言われ、先日も町内バレーボール大会がありまして、その後、反省会をしようということになったんですが、いろいろな競技大会の後、公園にごさを敷いてそれで車座になって、いつもそこで出てくる話が、「集会所があったらええな」という話です。

もう随分昔から運動されているんですが、なかなかできないんです。町内会議とか総会とかは公民館をお借りしてやっているんですが、こんな立派なもんじゃないんですよ、みんなが集まってできるようなもの、できたら集会所を各町自治会ごとに、お願いしたいと思っております。

【生涯学習政策課長】 本館があって、身近なところに集会所なり分館があるというのは、学習したり、地域づくりを進めていく上で非常に重要な拠点になると思っております。

教育委員会学習施設課が公民館の分館の建設とか、携わっていますので、本館を通してご相談をいただければと思っております。

【男性】 先ほど言いましたように、他の地区もないと思うんですね。そういうことがありまして、ぜひ、欲しいなと思っております。

【男性】 2つほどお願いがあるんですけど、1つは、松山市独自でみまもり員制度いうのをつくっております。現在、松山市では350名ほど、ひとり老人もふえておるということで、七十数名の増員をお願いしましたら了解してくれました。堀江地区も現在、8名のみまもり員がありまして、ひとり老人は180名ということで、今まで運営してきておったんですけども、幸い2名、堀江地区も増員をしてくれるという、なり手が少ないということで、民生委員の方からお願いをして、一応10名で4月からみ

まもり員制度ということになっております。

ただ、なぜ、みまもり員さんのなり手がおらんのだろうか。月1,000円がみまもり員の手当として出ておるわけなんです。できればこのみまもり員の手当を少しでも増額していただいたらとお願いをしておきたいと思います。

【市長】 一つ一つお答えをさせていただきます。今、ひとり暮らしのお年寄りの方がふえておりまして、みまもり員が350人いらっしゃって、一人当たりの対象の人数がすごくふえて、これは大変だろうということで、増員をさせていただきました。1,000円というのも存じ上げております。今1,000円というのは費用弁償という形で出させていただいております。例えば、お金を上げた場合に、みまもり員はボランティア的なものですよね、報酬みたいな形になった場合に、仕事として行くような形になる。それは、例えば孤独死を見つけられなかった場合に責任をその方に問われるような状況にならないかとも考えるんです。

そういった観点から、お金をふやすのではなくて、一人当たりの負担を少なくするというので、今年度は増員という形で対処をさせていただきました。しばらく状況を見ていただいて、また、御相談をさせていただいたらというふうに思います。

【男性】 社会福祉協議会からお願いしたいんですけども、ふれあいサロンが松山市で240カ所ぐらいあると聞いておりますが、堀江地区が一番多い、9拠点でサロン運営をしている。社協に無料のマイクロバスがあるんですよね。これは抽せんになっておるんです。お聞きしますと、松山市は1台しかマイクロバスがない。サロンだけで240、あと各種団体を入れよったら300あるわけです。ということは、2年に1遍ぐらいしか回ってこないということで、このマイクロバスを2台ぐらい増車をさせていただいて、年に1回ぐらいサロンで研修会とか親睦会を開けるような機会を設けていただいたらと思います。費用の要ることなんですけれども、バスの方も増車というふうな考えをぜひ持っていただきたいなと思うわけです。

【保健福祉政策課長】 社会福祉協議会のマイクロバス1台、これは市内240カ所、それ以外の方も御利用いただくということで、皆様の方から利用回数が少ないとか、1台では運営できないというお話も聞こえております。ただ、維持管理していく経費、購入経費等もかかるもんですから、今現在、その検討も進めるようにはしておりますけれども、経費がかかることで非常に難しいと思っておりますが、それ以外の利用方法であるとか、持ち帰らせていただき検討しますので、よろしくお願ひしたいと思っ

おります。

【男性】 私は、幼稚園の経営に当たっております。愛媛県は47都道府県の中で幼稚園の保育料が最低なんですね。そして、一番よくいっている東京都は、愛媛県の倍ぐらいの教育費を出しています。神奈川県も神奈川方式というのがありまして、幼児教育に対して非常に手厚い方向を見せてくださっております。

愛媛県は、少しずつですけれども、ふやしていただいております。ところが、松山市で奨励費を含む費用等はそんなにはできない状態にある。必要な経費を松山市の方で積極的にお立ていただきまして、豊かな幼児教育ができるよう、さすが愛媛県や松山市は教育県、教育市であるということを経験なさってはいかがでしょうか。

【生涯学習政策課長】 松山の場合、公立の幼稚園は5園あります。それ以外に私立の幼稚園が相当数あると思うんですが、就園の奨励金という形で全体で5億近いお金が出ているとは思いますが、各園に分けられますと、少ないというところもあるかと思えます。なかなか財政厳しい中で、市独自としての予算をつぎ込むというのが、どうやってもできない。お気持ちはよくわかるんですけれども、なかなか財政的に難しいというのが現状でございます。

【市長】 ついつい財政的に厳しいという話ばかりになっちゃうので、ちょっと申し上げたいと思うんですけれども、今、本当に予算が限られている中で行政としては失敗は許されないわけですよ、皆さんから大事な税金を預かっているのです。でも、まちづくりコミュニティ会議というのでできているので、堀江の町をどうしたいという思いが我々に届いてきます。本当に外れないまちづくりができる、そういう意味でまちづくり協議会、まちづくりコミュニティ会議は大事な場所だと思っております。それが既に堀江にはありますから、いいまちづくりができると思っております。

【男性】 つい最近、東北関東太平洋沖巨大地震が起きました。これから先、南海地震が起きると言われています。その南海地震への具体的な対策を教えてください。

【市長】 やっぱり皆さんこれ気になりますよね。南海地震ですけれども、今後、30年以内に60%程度の確率で発生すると予測されています。南海地震はマグニチュード8.4、震度6弱を想定しております。津波、心配されるところだと思いますけれども、松山港で第1波の到着時間をおよそ2時間10分後、そして、最大の津波の高さを2.4メートルとしております。ビルの1階を3メートルぐらいだと思ってください。ですから、2階、できれば3階建てに、できるだけ高いところに避難をしていただきたいと思います。

ております。

今回、起きたのが大平洋沿岸でした、太平洋沿岸と違って、瀬戸内海は水深が浅い
ですから津波の速度が遅くなるそうです。やってきたときの力もかなり衰えていると、
公的なホームページを調べたら出ておりました。ちなみに水深4,000メートルの外洋で
は秒速200メートルです。浅いところになると秒速10メートル前後ということで、水深
がかなり関係するということがおわかりいただけるかと思えます。

今回、東北はリアス式海岸で、海岸線が奥に入るほど狭まっていますので、より津
波が集約されて成長してしまうということがありました。そういう状況で松山港は第
1波の到着時間をおよそ2時間10分後、最大の津波の高さを2.4メートルとしておりま
す。

3月に防災マップが配られたと思えます。この想定をもとに浸水エリアですとか、
どういうものを準備してくださいというのが書かれていますけども、今回の津波、地
震を受けて、国や県も見直しをしてくるのではないかと思います。その場合には、ち
ゃんと見直しますというのを皆様に周知いたします。もちろん、計画は計画で、「これ
完璧な計画です。一切修正いたしません」みたいなことはありませんので、国や県の
方針をもとにこの防災マップはつくられていますから、見直しが行われた場合にはち
ゃんと見直しをしてまいります。

何で市でほんなら先にやらないのかと思われるかもしれませんが。これは、市が今回
のを受けて改めますってしますよね。たちまち県が改めますってなると、また改める。
また国が改めるといったら、もうばらばらになっちゃうんですね。国や県の見直しが
されると思えますので、それと合わせてしていきたいと思っています。

今回、想定外のことが起きましたので、日ごろから準備をしていただくことが大
切。そして、地域での助け合いも必要になりますので、地域の中での助け合いもつく
っておいていただく。そして、もちろん避難の準備の品物もつくっていただく。
そして、もし地震にあった際にはラジオに切りかえて、直ちに情報を仕入れていただ
くことが大事になると思えます。

【男性】 坊っちゃんスタジアムでプロ野球やほかのイベントが開催されるのはとて
もううれしいんですけど、坊っちゃんスタジアムなどは駐車場が少ないので、ひどく混
雑して車をとめるのにもひと苦労なんです。それで、帰り道も混雑してしまって、堀
江まで帰ってくるのに一、二時間かかったりとか、周辺は道も狭いのでそういうとこ

るの改善もしてもらったらと思うんですけど、そういうのはないんですか。

【市長】 松山中央公園、坊っちゃんスタジアムは渋滞しますよね。大きいイベントがあるときには、運動広場を臨時駐車場にして、普通自動車でおよそ2,850台駐車することができます。例えば、5人乗ってきたとすると、1万5,000人分ぐらいの駐車場になろうかと思います。

そこで、考えていただきたいのは、JR松山駅から最寄りの市坪駅、たった1駅、4分なんです。これをぜひ利用していただきたいと思います。

今、松山駅周辺にとめて、JRを利用される方がふえてきていると聞いております。道路も今建設をしております。坊っちゃんスタジアムのそばに高架ができよんのが見たことがあると思いますけども、松山外環状道路といいます。何でつくっているのかといいますと、とにかく松山はインターチェンジと空港の間が時間がかかり過ぎる、30分ぐらいかかる。松山インターチェンジから33号でやってきて、環状線でぐるっと回って新空港通に入ってようやく空港に来れる。30分ぐらいかかります。それをインターチェンジから空港まで、こういう道路で結ぶことができたらというのが松山外環状道路。今、30分かかるところがおよそ10分になります。20分短縮されるという道路です。渋滞していると車と車の間、自転車が出てきて、バイクとぶつかってという事故もある。そして、CO₂が出る。とっても混んでいる松山、それを解消するためにその道路をつくります。

そんなふうにして、できたら近々の話としては4分ですからJRを使っただかく。松山外環状道路もつくっていますという話になります。

【男性】 堀江地区は非常にスポーツが盛んなところで市民体育祭14連覇、愛媛マラソンも多数参加しております。市民スポーツ大会でも毎年好成績を残しております。

しかし、堀江小学校をいろんなことで使用しております、もう手いっぱいがございます。そういうことから、子どもから高齢者までが自由に使用できる、多目的運動広場を市でつくってもらえないかということです。野球やサッカー、ソフトボール、また、グラウンドゴルフ、ゲートボール、町内会の運動会などにも利用したいと願っております。維持管理に対しましては、できるだけ地元として協力したいと思います。

【市長】 そうなんですよね、私も利用したことがありましたけども、NHKの堀江グラウンド、井関農機の堀江グラウンドも廃止になっていました。以前は4カ所あったのが今2カ所になっている。グラウンドの新設を求める声があるというのは私も承

知をしております。

新たな土地を取得しての整備というのはなかなか困難と思っております。近くとしては、北条の立岩川の河口に法橋グラウンド、また、北条の文化の森の市民グラウンド、サブグラウンド。そして、旧北条の安岡に4つのグラウンドがある、そういうところを利用していただけたら、今の状態がよくないんやったらそこをより機能をアップしていければと思っております。

あと、先日、北条のスポーツセンターに新しい体育館ができました。これはいい施設ができました。体育館の下に風が通るようにしましたので、夏場でも涼しいそうです。上は幕のような仕組みにして太陽光が入るとっても明るい場所です。照明も電力を控えることができる、いい体育館ができました、2階にデッキがあるんですけども、デッキに出ていただいたら海が見えます、鹿島が見えます、きれいな人工芝、天然芝のグラウンドも見えますので、バレー3面、バドミントン10面使えますので、北条のスポーツセンターの新しい体育館も使っていただけたらと思います。

もう一つ、国道196号のバイパストンネルで出た土を北条スポーツセンターの奥の谷に持って行くとるんですね。整備したらグラウンドにソフトボール3面ぐらいとれるかなという場所があります。でも、宿泊施設がほしい方も、グラウンドがほしい方もおいでる。皆さんでいろいろ意見を出し合いながら、どういう施設にするのかというのを決めていこうという状況です。

【男性】 堀江は今お話があったとおり、本当に住めば住むほどすばらしい町です。安全・安心のまちづくりということで公民館、館長が中心になって必死にやっております。1年ぐらい前、松山日赤病院移転先の問題がありました。もう決まったのかなと思ったんですが、そうではないみたいです。それで、お願いしたいのは松山日赤を城北地区に安心するための病院をつくってほしいんです。

やはり人間はどういうことがあるやらわかりませんが、ぜひ、そういう場合にはこの堀江校区の市民が、何かの折には即助けられるような状態づくりをしなければならぬと、ぜひ、この城北地区に移転をしてもらえるようお願いしたいということで、大変申しわけございません、よろしく申し上げます。

【市長】 お気持ちはよくわかります。病院が近くにあったら安心ということで、本当に各地の方が声を上げているんです。赤十字病院が今、敷地とか交通手段ですとか、そういう条件を慎重に検討されていると聞いております。ですので、病院から具体的

な計画内容が示された段階で対応をしていくという形になるうかと思えます。

【男性】 堀江港の件について、2年前にフェリー航路がなくなりまして、現在は、非常に寂れた状態となっています。たくさんの人に堀江に来ていただいて、活性化を図りたいと考えています。それで、今の駐車場部分は、堀江には魚や野菜がたくさんありますので、それ等を販売できるような施設や、海に関する体験とか休憩場、さまざまなイベントに対応できるフリースペースを設けていただいて、湾内で例えば、イルカを飼っていただくことはできないでしょうか。道後や松山城から車で30分というアクセスで、観光の面でも貢献できると考えております。たくさんの人に堀江に行きたい、住みたいと思っていただけるように、近隣住民としてはできる限りの活動や協力をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【市長】 私も以前、堀江の方から港でイルカを飼えないだろうかというお話をいただいたことがあります。香川県にイルカを飼っているところがあると聞いて、セラピーというんですか、イルカと触れ合うことによってというのを聞いて、いいなと思ったことがあります。これがなかなかハードルがあるそうです。ちょっと調べてみますと、飼育下のイルカというのは寿命が短くなる傾向があるそうです。国内外の団体による反対運動が盛んなそうです。香川県の施設では、19カ国から900通の中止の要請が来ているそうです。なかなかストレスがあるんでしょうか、イルカというのは一般的には10年から50年生きるそうですけども、飼育下ではなかなか長生きをさせることができないそうです。また、維持管理費が年間およそ2,500万円かかるそうですけれども、これほとんど人件費だそうで、なかなかうまくいかない、こういうハードルをクリアしないといけないのが現状です。

それで諦めるんじゃなくて、ほかの方法がないか考えてみたんですけども、堀江港を海の駅として魅力アップすることができないかと思っております。これは、海の駅の愛媛での代表的な例でいいますと、人工の砂浜をつくっていたり、キャンプ場があったり、マリナーがあったり、クラブハウスがあってレストランがその中があったりするマリナーパーク新居浜というのがあります。

海の駅というのは、国土交通省に登録される、マリンレジャーに興味のある人がいつでも、だれでも、気軽に利用できる憩いの場、全国各地で設置されたレジャー拠点というものです。この海の駅を目指してやっていくのはどうかなと思っております。

例えば、いいのが堀江港の近くには堀江の駅がある、歩いて5分です。堀江の駅に

行きました、10分で松山駅に着きます。松山駅に着いたら、チンチン電車に乗っていただいて道後温泉に入りに行く。車を使わないで。そういうヨットの方に楽しんでいただく海の駅としてできないかと思っております。

そして、陸上の部分は港まつりの会場にもなりますので、例えば、トイレをつくるとか、東屋をつくるとか、そういうことはできようかと思っております。堀江はせっかくのまちづくりコミュニティ会議がありますので、堀江の港をこうしたいというのを教えていただけたらと思います。

昔は国鉄の航路がありました。呉松山フェリーがありました。時代の流れでしょうか、今とても寂しいことになってしまっていますけども、これで終わったらいかんような気がしませんか。ここで頑張って、何かまた新たな魅力づくりができればと私も思っておりますので、こういうふうにしたいというのを教えていただければと思っております。

【男性】 公民館長さんは、堀江のよいところで、福祉施設が堀江は多いと話されております。それは、受け入れる人の資質があるからじゃないかと言われております。そうならば、堀江の町を福祉の町にすればどうだろう。松山市の福祉タウンとして位置づけができないだろうかと思っております。高齢者の福祉環境面からいいますと、高齢者施設は有料老人ホームが5施設、目の悪い方の施設が1カ所、認知症対応型の施設が5カ所あります。あと、くつろぎ的な施設としては権現温泉など、文化的な施設では三浦美術館、医療施設としては大型病院が2つ、開業医タイプの病院が多数ありますし、将来的には先ほどお話がありましたようにどうかわかりませんが、日赤が城北へ来るだろうか、城北地区にそういった移動がなされれば、そういったことも将来的には環境が整ってくるのではないかというふうに思っております。

堀江の町が福祉の町として発展、充実されるのは、松山市にとっても大きな発展の1つになるのではないのかなと思っております。

例えば、多目的総合福祉施設とかが木の幹になり、周辺にいろんな施設ができ上がってくる、スポーツ施設も附帯する。そういった広がりを見せて、堀江の町が行く行くは福祉の町に育てていただくことも、堀江だけでなく、松山市の発展にもつながると希望を持っております。ぜひ、松山市の将来の構築の1つにお考えをいただければ、堀江町民にとってもありがたいと思っております。

【市長】 堀江の沖で船が沈んだことがありましたよね、明治時代、あのときも堀江

の漁民の方々が一生懸命救助に当たったと聞いております。もともと堀江の方は、お遍路さんが行き来を分けて、お寺さんがあって、優しい心をお持ちだと思いますので、福祉の町という観点は大事な観点だと思います。ちょっと寂しい例で反対運動が起きていた地区もあるんですけども、堀江はそういうことがなくて受け入れてくださっている町ですので、そういうところはこれからも大事にしていきたいと思っています。

【男性】 私の小学校の頃は週に1回か2回道徳教育があった、今はやっているのか。

【生涯学習政策課長】 指導要領で道徳教育というのは1つの授業として位置づけられております。

【男性】 それは学校単位で自主的にするようにしているのか。

【女性】 今、道徳の授業は、小学校のときに週に一、二回ほどとっていて、この前の年は道徳大会で、道徳もよりよい授業になるようにと、いろいろ工夫された授業で、私たちもいろいろ学んでいます。

【男性】 学校給食が滞るとるいうから確約書をということで、書類が回ってきとるけど、確約書を出さないかんほど給食費は払わんのかな。小さいときからの教育ができとらんけん、感謝する気持ちがないけん、こういうことになってくるんじゃないの、これはちょっと検討をしてみてください。

【市長】 これは確かにどうしたものかなという、本当に生活に困窮をされて給食費が払えない方も中にはいらっしゃるかと思うんですけども、そうじゃないのに給食費を払っていただけない現状もあるんです。そういうような状況です。

【男性】 子どもの学校の給食費をどんなことしたって払うのが普通じゃが、どんな理由があろうが払わん、それにまた市役所も善良な市民に対して、親に対して確約書を書かせるなんて、そういうなんはちょっと抵抗があると思いますよ、おじいとしては。わしらの時代はそういうことはなかったよ。これはもうちょっと考えてくれんといかん。

【市長】 給食費は電気代、水道代は市が負担して、せめて材料代くらいはお払いいただきたいんですけど、中には払っていただけない方もいるのでその様な対応になっている。

ほんとに次々と手を挙げていただきありがとうございました。予定の時間を過ぎていきますので今回はこれまでということにさせていただきますけれども、わくわくメールとか、入り口に私のところに届くはがきもありますので、こちらをご利用い

ただけたらと思います。常に門戸を開いていますので、皆様からのご意見をもとに市政を運営していきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。今日はありがとうございました。

【市民部長】時間が参りましたので、今の件については一つの意見として持ち帰らせていただきまして、関係部局に伝えさせていただきます。

【司会】みなさん、たくさんのご発言ありがとうございました。時間がなかった方申し訳ございません。最後に市長から本日の感想を申し上げます。

【市長】今日いただいた意見を市役所に持ち帰りまして、状況を調べなければなりませんので、1ヶ月くらい時間がかかるかもしれませんが、確実に皆様に返答をいたしますので、お待ちいただけたらと思います。これからも門戸を開いて皆様の意見をもとに行政したいと考えていますので、今後ともよろしく申し上げます。長時間ありがとうございました。

了